

## 災害応急食料備蓄の基本的な考え方

平成23年4月1日現在 人口 65,826人

○初期応急食料数量【想定】 100,100食

(1) 避難者を全人口の30%

(2) 熱源使用不能状態が、発災から2日間5食（地域防災計画「食料の供給」）

（2日間のうち最初の1食は、発災直後であり考慮しない）

$65,800人 \times 30\% \times 5食 = 98,700食$

(3) 帰宅困難者 800人×3食（1日分）=2,400食

●平成23年4月1日現在の備蓄量 52,306食（52.25%）

○初期応急飲料水数量【想定】 241,680本

（2日間分1日3リットル=12（本/500ml））

$65,800人 \times 30\% \times 12本 = 236,880本$

・帰宅困難者 800人×6本=4,800本

●平成23年4月1日現在の備蓄量 28,796本（11.92%）

◎この備蓄目標数量は、平素災害に備え各家庭において備蓄（3日間）が行われていることを前提にしつつ、やむを得ない事情により食料確保ができなかった市民等に対する対応分を計画保有するものである。

※飲料水については、麒麟麦酒(株)名古屋工場と「災害時における清須市と麒麟麦酒(株)名古屋工場の飲料水等供給に関する協定書」により飲料水等の確保に努めている。

- ・災害対策基本法第2条第1号に定める災害  
暴風、豪雨、洪水、地震、大規模な災害
- ・飲料水 3,200トン（清須市民1日3リットルで16日分）
- ・加工米 100トン（清須市民1日600gで2.5日分）

## 防災資機材の状況について

### 1. 防災資機材の状況（平成23年4月1日現在）

食料・飲料水	●乾パン・クラッカー 37,006●アルファ米 15,300 ●飲料水（500ml ペット） 28,796 ●非常用ミルク（27g） 2,880●ミルク配給セット 16 ●ハイゼックス 7,800●飲料水容器及び袋 6,697
生活品	●紙コップ 14,754●紙皿 3,602●タオル 2,089●ドームテント 239 ●日赤用品セット 169●割り箸 3,550●やかん 69●湯桶 1,760 ●歯ブラシ 3,700●石鹸 1,778●バケツ 5●軍手 603●男女下着 700 ●オムツ各種 8,201●大釜セット 19
衛生・救急用品	●オスバン 90●クレゾール石鹸（500ml） 438●逆性石鹸（500ml） 0 ●木酢液（20kg） 54●除菌消臭剤（20kg） 0●担架 25●防塵マスク 2,482 ●救急箱 37●濾水器 9●噴霧器 5
避難所用	●毛布 14,497●たたみ・ござ・マット 673●簡易トイレ 143 ●避難所看板 6●避難所間仕切りセット 116 ●懐中電灯 49●ランタン 31●乾電池 31●乾電池ホルダー 47●ろうそく 458●発電機（中型） 26●発電機（小型） 41●投光器・ストロングライト 93 ●ガソリン携行缶 16●コードリール 39●テント 39●メガホン 7 ●ブルーシート 1,215●車椅子 3
工具	●折りたたみリヤカー 22●エンジンカッター 1●はしご 3●水槽 3 ●工具セット 27●消防可搬ポンプセット 4●チェーンソー 11
水防用	●船外機 4●ボート（4人乗） 3●ゴムボート（6人乗） 12 ●アルミボート（6人乗） 7●ライフジャケット 94

### 2. 平成23年度購入予定防災資機材

備蓄品名	数量	備蓄品名	数量	備蓄品名	数量
発電機（中型）	5	投光器	22	携帯式非常用照明セット	3
ドラム	36	ガソリン携行缶	34	ガソリン缶詰	480
アルファ米	1,500	クラッカー	3,010		

※避難施設など24ヶ所に電力及び光源確保することにより、障害者に対する延命器具装置への電力供給、及び冷暖房器具への供給確保などため、発電機などを配備する。また、低蚤白米など災害時要援護者に対する食品確保するため、災害救助用タンパク制限者用アルファ化米(白米)への一部購入予定。

### 3. 平成24年度以降の整備計画

東日本大震災で不足とされていた資材を中心に整備を予定

- (1) 災害弱者対応組立て用簡易トイレ
- (2) 避難所間仕切り（プライベート確保室用）
- (3) 簡易トイレ（スケットイレ）
- (4) 下着セット
- (5) 女性生理用品